

# 新潟県 公民館月報

KOMINKAN GEPPU

12

December 2015  
No.754



刈羽村源土運動ひろばサクラ満開プロジェクト(刈羽村)

刈羽村源土運動ひろばに植えてある、桜の育樹活動の様子です。

4~5

特集

公民館月報 第1回座談会「私の公民館活動とこれからの公民館」

CONTENTS

- 2………… トピックス 元NHKキャスター 村松真貴子氏来県 講演
- 3………… 視 点 「楽しく学び、ボランティア活動を！」 県立生涯学習推進センター副参事 櫻井 和宏  
ひろば 「退職後の趣味」 新発田市公運審委員 高橋 孝夫
- 6………… 実践記録シリーズ 中越地区公民館研究大会 実践発表 十日町市・津南町
- 7………… サークル交流 「懐かしい歌を合唱で楽しく♪」(三条市) / 「地域の宝もの、民話を語りつく」(小千谷市)  
素顔 拝見 山岸 郁美さん(村上市) / 笹岡 遥さん(南魚沼市)
- 8………… お元気ですか 「継続こそ力」 阿賀町・阿部 明夫さん  
ネットワーク

TOPICS

元NHKキャスター

村松真貴子氏来県 講演

元NHKキャスターでフリーアナウンサー、エッセイストの村松真貴子氏が来県し講演しました。

これは、県教育委員会が主催の「新潟県生涯学習習県民フォーラム」の講師として招聘したもので、村松氏が全国公民館連合会の理事でもあることから県公連が講師依頼の仲介をしました。



講演は2回にわたって行われました。

・1回目10月30日(金)

県立生涯学習推進センター

「挨拶から始まる地域の絆」

・2回目11月9日(月)

魚沼市中央公民館

「笑顔あふれる地域づくりのために」

どちらの講演会もキーワードは「地域」で、それぞれ、挨拶、会話など身近な例をあげて地域づくりや人とのつながりについてお話しをされました。

講演時間が1時間という短いプログラム設定で、村松氏が用意された資料の半分が時間切れになってしまいました。もう少しお話を聞きたかったと、両会場参加者から声があがりました。

講演の要旨は

・コミュニケーションの三つの柱

①良い人間関係を作る



参加型の講演会 新潟会場



参加者熱演？に拍手喝采



②情報を伝える

③相手の気持ちを動かす

・笑顔で話すと声も明るくなる  
・体は楽器 訓練次第で響く声になる

・挨拶のキャッチボール  
・言葉には体温がある  
・人前で話すとき 緊張しないコツ

・自己紹介が上手になれば人の輪が広がる  
・子どもたちの心と体を育むために  
・人は心を通わせながら生きていく

・アイコンタクトが鍵を握る  
・言葉は未来を作る道具  
・明日は新しい自分に出会えるかも知れない



参加者の近くで話す講師 魚沼会場

・いざというとき力になってくれる人は地域の人 (一部省略)

両会場とも参加型の講演会に大盛り上がりでした。村松氏の軽妙なやりとりもあり、「反応も上々で、楽しいひとときとなりました。」

村松氏は、講演終了後に、「新潟の人たちは、反応がのりのりで明るいですね。大満足です」と笑顔で帰っていました。

(田原)



話聞き入る参加者(魚沼会場)



### 「退職後の趣味」

新発田市公民館  
運営審議会委員  
高橋 孝夫



退職してから始めた絵(油絵)も、今年で3年目となりました。講師の指導をいただき、会員のみなさんと楽しく活動を続けています。最近では作品展なども開催し、さらに会の活動が広がってきています。

長年趣味で山歩きをしてきたが、いつもきれいな風景に出会うと絵で描いてみたいと思っていました。そんな時に近くの公民館で活動していた絵の会への誘いを受けて絵を始めることになりました。しかし絵を始めてみると、思うように描くことができず苦労していますが、いろいろ指導いただき続けている状況です。もともと、自分で感じた風景をあらわすことができたと思っています。

また市内には、いくつかの絵の団体があります。各団体の作品展を見にいたり、勉強しながら交流を進めていきたいと思っています。しかし、他団体でもよく聞かれるのが新しい加入者が少なく、会員の高齢化が進んでいることや、会が活性化していかないという事です。今後とも加入される方が増え、各団体とも活動が盛んになっていければと思っています。

## 視点



県立生涯学習推進センター  
副参事 櫻井 和宏

### 「楽しく学び、ボランティア活動を！」

当センターでは、県民の学習機会拡充の一つとして、毎月三回映画上映を行い、保有する教材や貴重な映像等を公開しています。そして、そのすべての上映会を「いきいき県民カレッジ」講座としています。受講者は映画を楽しく学び、学んだことを茶話会で語り合い、一つのコミュニティになりつつあります。

ところで、平成25年に見直された、第二次生涯学習推進プラン(改訂版)のサブタイトルには「学びを楽しみ 社会に生かす」とあり、学習成果を社会に生かすことに力点を置いたものとなっています。

つまり、映画を楽しく学ぶことで意欲と能力が高まり、成果発揮の行動変容が求められているわけです。例えば、上映映画の選定や解説、上映機器等の操作、映画周知物の作成等々を行う姿です。当センターには、平成12年5月に発足した、まさしくその成果発揮の場となる「映画ボランティアの会」があり、月1回の企画運営会議、上映会の運営に携わってもらっています。しかし、この会に、学んだ人をなかなか誘い込めない現状にあります。

自ら学習成果を発表し、社会に生かす一番の方法は、「ボランティア活動」と私は考えます。今までボランティア学習をあまりやってこなかった高齢者に向け、公民館講座として企画してみたいかがでしょうか？

## 掲示板 HOT NEWS

### 「近藤文子さん」全国表彰される



受賞式会場にて 近藤文子さん

新潟市西地区公民館職員の「近藤文子さん」が、全国公民館連合会から永年勤続職員表彰を受賞しました。平成11年から16年以上にわたって公民館職員として勤務した実績が認められ、今回の受賞に

なりました。

表彰式は、11月14日(土)東京・小平市で開催された関ブロ大会で行われました。



# 特集

## 公民館月報 第1回座談会「私の公民館活動とこれからの公民館」

毎年好評をいただいている座談会の内容を今年度も掲載します。1回目は、11月5日(木)に新潟市中央公民館を会場に実施した座談会を今号で掲載します。2回目は12月10日(木)に行い1月号に掲載する予定です。



テーマはどちらも「私の公民館活動とこれからの公民館」で、1回目は、新潟市以外で、公民館の活動を行っている市民・一般の方々3人をメンバーにして意見交換を行いました。

### 〈座談会メンバー〉

- 石井 陽子(上越地区・上越市)
- 井 京子(中越地区・湯沢町)
- 岡崎 純子(下越地区・佐渡市)
- 藤井 雪子(下越地区・佐渡市)
- 司会 田原 理(県公運事務局長)
- 記録 大坪 美樹(上越市公民館職員)
- 島津 和子(県公運事務局員)

(田原) 本日はお忙しいところ座談会にお出でいただきありがとうございます。本日は県内の上・中・下越の方からお集まりいただきまして、それぞれ、現在、公民館活動を実践されてい

る方々です。

今日は、公民館の活動やこれからの公民館がどうなっていて欲しいかなどを、一般の市民目線で、意見交換をお願いしたいと思います。

前半は自己紹介を含めて、ご自身の公民館活動についてお話しください。

### (石井)

上越市名立から来ました。一般選出の公運審委員、社教委員です。公民館に頻りに顔を叩き出しているのを選びましたと思います。

公民館では、演劇、公民館サポーター、元気の出るふるさと講座などの活動をしています。

「名立くすれ」を自分で台本を書き、劇でやれるよう演劇活動をやっています。

湯沢から来ました。元は五泉生まれです。仕事を退職した54歳から公民館で活動を始めました。

英語教室、習字講座などに参加し、60歳のときに主人を誘ってシルバードダンススクールに入りました。現在、サークルとして活動しています。公民館に頻りに顔を叩き



ています。井は珍名ですね。

### (岡崎)

佐渡市羽茂に住んでいます。佐和田、金井、赤泊でフラダンスサークルをやっています。私は衣装担当と会計もやっています。運営というか裏方の仕事ですね。ダンスを教える立場でもあります。若いママチームの活動もやっています。佐渡は転勤の人が多いので、新潟に戻っても続ける人が多いですね。一度、ステージに上がるとやみつきになるようですね。

### (藤井)

Uターンして佐渡で結婚。岡崎さんと同じフラダンスサークルで活動しています。フラはスクール化していることが多くなっていますが、私たちはサークルとしてみんなで楽しくをコンセプトにやっています。公民館を借りて安い会費で楽しくやっています。公民館は私たちのようなグループにはなくてはならない施設です。

ステージに出ると歓声が上がりますが、特に子どもが出ると大喜びです。現在、40名近いメンバーがいます。

### (田原)

県内にはフラダンスサークルが多数あ



佐渡の元気な2人(左:岡崎さん 右:藤井さん)

りますが、佐渡はお金がかからないのが売りですね。藤井さんはどんなきっかけでダンスを始めたのですか。

**(藤井)** 新潟で習っていた友人に誘われました。佐渡市はステージのある施設がないので公民館を使っています。

**(田原)** サークルの運営には指導者や会計などの他、活動のルールも大切ですが、その点はいかがですか。

**(岡崎)** 特別な指導者はいません。私と藤井さんで考えて運営しています。1回5000円の参加費でやっています。ダンスのレベルアップのためにワークショップに参加し、大会を見て研修しています。

**(田原)** 井さん、ダンススクールへの参加にご主人は前向きでしたか。

**(井)** きっかけは、2人で海外のクルーズ旅行をして、船内のダンスパーティーで踊れるようになりたいという気持ちがあり、誘うとすぐやる気になりました。退職後、英語を習い、60歳でダンスを始め、夫婦で共通のことに取り組むのは仲良くやる上でとても良いことですね。

**(田原)** 英語教室について教えてください。

**(井)** 湯沢にはマンションが多くあり、いろいろな人が住んでいます。特技を持つ人が豊富で人材バンクに登録しています。公民館が登録事務をしています。その中で、A.L.T.の先生のクラスとか、日本人の先生のクラスとかいろいろあります。人材バンクでいうと、マンションの人たちは湯沢のことが知りたい、友だちを作りたいという動機で公民館にかかわる人が多いですね。

**(田原)** 湯沢は、自分に必要なものが公民館にある。佐渡は、公民館を安く使えるメリットがある。上越では、合併後は3市になりましたが、名立

地区を含めて、公民館の活性化についてどう考えていますか。

**(石井)** 私は、委員として、他の公民館の活動状況を知りたくて、公民館サポーターとか支援員をやりました。

公民館では、以前は、公営結婚式とかやっていましたが、今では制限されています。行政と市民の窓口は公民館なので、住民の意向を受け入れて欲しいと思います。生きていこう、楽しいことをしよう、仲間づくりをしようということが実現できるのは公民館です。これは地域づくりそのものです。

**(田原)** まったくそのとおりですね。都市部では地域のつながりが希薄になっていて、自治会町内会に入らない。これらの活動から地域や人とのつながりができるのですが、残念ながら先行きの見通しが立たないですね。

**(岡崎)** 佐渡では、鼓童の活動をしているお嫁さんが公民館で結婚式を挙げました。地域の蕎麦の会の活動しているグループが入り、蕎麦を食べながらの結婚式でした。

**(石井)** 公民館での結婚式は、これから地域で暮らすのでよろしくお願ひしますというお披露目ですよね。以前は、カッパルを作るイベントもやっていました。他県の人といっぱいカッパルができました。都会では自分の居場所がなくとも生きていけますが、田舎では自分の居場所は自分で見つけないといけないですね。よそから入ってきた人は地域で居場所を探さねばならないですね。公民館の活動がその一端を担うのではないのでしょうか。

**(田原)** 井さん。かつて、東京都湯沢区と言われた特別な地域で公民館の役割はどうあったら良いと思いますか。

**(井)** やはり、地域の人とつながりたいという気持ちがあるのに、その機会と場所がないです

ね。特に、湯沢には公民館が1つしかない中で、公民館利用者が限られています。遠くで、若い母親が集まれないですね。学校も小学校が統合して1校になって、地域活動の拠点がなくなりました。地区運動会などは地域作りの絶好の機会でしたが、何とかして欲しいと常々思っています。

**(藤井)** 佐渡は閉鎖的なところがあり、若い人で佐渡生まれでない人たちは居場所を求めています。公民館が居場所になれると思いますが、施設整備が遅れています。私たちの活動に必要な姿見鏡がないなどです。今日の会場の「フロア」がうらやましいです。

**(石井)** 施設整備は大切ですね。公民館は、地域づくりに大切なんだという認識を行政として重視して欲しいですね。公民館職員は関係の仕事を多数引き受けていて、てんでこ舞いの毎日です。本来の公民館事業に集中できるように職員を配置をして欲しいですね。

**(田原)** 公民館職員は専門職です。短期間で異動されると成果が上げにくくなりますね。予算を付けて、施設整備ももちろん大切ですが、職員の配置がキーポイントですね。頑張って、公民館が発展することは、地域が発展することにつながるんじゃないかと思っています。

今日は、遠いところ、ご出席いただきありがとうございました。皆様の一層のご活躍をご祈念申し上げます。多くの、大変良いご意見をありがとうございました。



手前:記録 大坪さん(上越市)  
奥:記録、庶務 島津さん(事務局)

213

## 中越地区公民館 研究大会 実践発表

十日町市・津南町

# 実践記録 シリーズ

### 【十日町市】

「新座分館における盆踊りを通じた

「コミュニティの絆づくり」

新座地区の分館では、新座コミュニティセンターで毎月運営委員会を開き、公民館活動の運営について話し合い活動を行っています。その活動の一つに、地区の盆踊り大会があります。

この取り組みのねらいは、教室を開き、踊りを覚えてもらい参加を促すことと、子どもたちの参加により文化の継承を図ることにあります。

### （活動の様子）

踊りの講師選定やその謝礼、練習日の設定などを決定し、本番の8月14日に向けて開催準備を進めました。小学校にチラシを配布して参加者の募集を行いました。

### （事業の実際）

参加者：18人（うち子ども1人）

学習内容：十日町小唄、深雪甚句三階節の練習。始めは講師の踊り見本。振りの練習を繰り返し、あとは音に合わせて練習。

学習の様子：うる覚えだった振りなどがわかり、楽しい雰囲気が出ました。

### （成果と課題）

男性の参加が予想より多い反面、子どもの参加が少なく、開催計画策定を早める必要があると思われました。



発表する2人

右：田村 英明（十日町市中条公民館）  
左：根津サヨ子（津南町社教指導員）

### 【津南町】

「公民館が地域の人材・団体をむすんで

行う家庭教育講座の取組」

### （家庭教育講座の目的）

町内未就園児を持つ親子を対象に参加を募り、家庭にある物をリメイクして子育ての1

ページとして形に残し、親子や親同士の交流の場を提供しました。

津南を拠点に活動しているNPO法人Tapと協働して活動しました。

### （講座の内容）

- 1 子どもの古着でリメイクフォトフレーム作り
- 2 家にある空き容器で可愛くデコレーション作り
- 3 愛情たっぷりご当地つなっぺキャラクター弁当作り

### （事業の成果と課題）

主催者側も、子どもとのふれあい遊びの大切さを知り、子育てを行う母親たちが大きな役割を果たしていることを知ることができました。講座中の母子分離の時は、母親との余裕を持った引き継ぎの時間が必要であると思いました。

### （今後の取組）

子育て支援センターを利用している母親たちの声を聞き、Tap、農村地域アドバイザーと連携し、講座の内容の充実を図りたいと思います。





懐かしい歌を  
合唱で楽しもう

コールレージン

平成元年に発足した歴史の長い合唱団です。50代から90代まで会員は55名で、うち3名が男性です。懐かしい愛唱歌・童謡・唱歌・抒情歌などを中心に、合唱の基本発声法と歌詞の発表方法を楽しみつつ学びます。

練習日は、毎月第1・第2・第3水曜日の午前10時から正午まで。村上久美子先生のピアノ伴奏が合唱を支えてくれます。練習の積み重ねで心地よいハーモニーが生まれ、音楽の喜びを共有します。  
毎年11月三条市の音楽祭に



出演し、また、年1回近隣の老人ホームを友愛訪問いたしましただけなのが嬉しく、同時に「愛の力」を感じます。

三条市・コールレージン  
代表・講師 高橋 俊夫 記

地域の宝もの、  
民話を語りつぐ

小千谷語り部の会

小千谷の民話を語りつぐ会を立ち上げようと公民館の方と進めていた矢先、中越地震に見舞われ、立ち消えになっていました。10年後の昨年11月、再度公民館活動として5回にわ



小千谷市・小千谷語り部の会  
須田 典子 記

たる「小千谷語り部養成講座」を開く事が出来ました。19名の参加があり、講座終了後、サークル活動に登録して頂き「小千谷語り部の会」として発足しました。  
毎月第2土曜日の午後から各自選んで来たお話を発表し、研鑽をつんでおります。  
本年12月12日(土)、第1回の発表会を行う予定です。  
今後地域の宝ものを、学校やいろいろな場所で、伝えて行くことが出来たらと思います。楽しみながら和気あいあい笑顔たくさんさんの会です。

村上地区公民館

社会教育指導員 山岸 郁美さん



村上地区公民館 社会教育指導員の山岸 郁美さんを紹介します。

山岸さんは、北海道生まれの23歳。大学では社会教育学を学び、縁あって今年4月から当公民館に勤務し青少年期教育の事業に関わっています。(ちなみに独身です)

公民館の仕事が大好きという山岸さんは、地区内小学生を対象にした「わんぱく自然塾」や民間団体「健民少年団の事務局」、また「春休み・夏休み・冬休みなど長期休暇中の小学生の体験教室」等の事業を、本人も楽しみながら行っています。

明るく元気で、笑顔がすてきな彼女は、身長150センチに満たないかわいらしい体格(中学生と間違われることしばしば?)ながら、実にパワフルです。

ナント!勤務し始めて2日目という4月2日・3日には、前述の「春休みの小学生の体験教室」の事業を難なくこなし、小学生の心を鷲掴み。事業が終わる頃には、「いくみ先生、いくみ先生」と慕われていました。

社会教育主事の資格を持っていて、忙しい事業スケジュールの合間をぬっての自己研さんの研修会にも進んで参加。レベルアップの努力も怠りなし。とても頼もしく将来有望な女子です。

趣味は、学生時代からやっていたバスケットボールとラクロスとのこと。これからも元気ハツラツで、活躍してほしいと願っています。

(村上地区公民館 社会教育指導員 石田 幸子 記)

南魚沼市中央公民館

主事 笹岡 遥さん



これまでどちらかという高年齢化傾向の続いていた南魚沼市中央公民館にこの春待望のフレッシュユマンが着任しました。落ち着いた風貌のなかにも社会人1年目の初々しさが感じられる笹岡遥さんを今回紹介させていただきます。

まだ戸惑いも多いかと思いますが、何事にも一生懸命さが感じられ、早くも現在担当している公民館講座のおじさん、おばさんからの信望は厚く、少年少女対象の教室では頼りになるお姉さんとして活躍しています。職場内でも少しずつ遥さんの色が感じられるようになってきました。美術館めぐりや映画鑑賞が趣味とのことで職場としての公民館にもすぐなじんでもらえたかなと思います。

組織等の大きな変革の時期にある南魚沼市、笹岡さん、その笑顔で新鮮な発想で、新しい公民館へとステップアップしていくための担い手となられることを期待しています。遥さん、一緒にガンバリましょう!

(南魚沼市中央公民館 牛木 治 記)

素顔拝見

ネットワーク

**関プロ大会開催される**

第56回関東甲信越静八公民館研究大会が11月14日(土)、東京都小平市で開催されました。今年度は例年と異なり、開催期日が全国大会(10/15・16鳥取市)の後となったことや土曜日・1日開催となりました。総参加者数は574名で例年より少なかつたものの、新潟県からは例年とほぼ同数の23名が参加しました。開会式典で表彰式が行われ、新潟市西地区公民館の「近藤文子さん」が永年勤続者表彰を受賞しました。(3ページ掲示板参照)



大会は1日開催で、事例発表や分科会が行われず、基調講演とシンポジウムが中心でした。専門的な内容で一般参加者には難しいと感じました。

研修主題：公民館 その後  
新たな可能性(東京発、戦後70年目の温故知新)

一日のプログラムで注目されたのは、2つのアトラクションでした。ジャズオーケストラと西東京かつぱれ道場はどちらも公民館講座から発展したもので、見事な演奏と踊りに会場から大きな拍手が送られました。

シンポジウム  
司会者  
上田 幸夫(日本大学教授)  
シンポジスト写真 右から  
井口啓太郎(国立市公民館)  
木下 巨一(飯田市公民館)  
神代 浩(資料館学術政策局)  
末元 誠(神戸大名誉教授)

お元気ですか

「継続こそ力」

阿部 明夫  
(東蒲原郡阿賀町)



飯豊山は初雪に覆われ、麒麟山は紅葉の真っ盛り。見事なコントラスト。温泉は観光客で満杯の盛況ぶり。

阿賀町公民館所属の町文化協会主催「第7回合同作品展」がスタートした。協会加盟60団体の内、創作活動を行っている17団体の作品を中心に、保育園・小学校・公民館講座作品・個人作品と多彩で内容の

充実した4日間であった。この中で、「七福神」の共同作品を出展されたグループホームの皆様に感激した。

別会場の「茶会」では高校生参加、「写真展」等は他地域からのお客様で賑わった。交流が大切である。

次週は17団体の「第8回合同発表会」最後は「第18回里の秋ふれあいコンサート」

合唱団4団体、中高生の吹奏楽で締めくくる。

阿賀町各地域では、「秋の収穫祭」で活気が満ち溢れている。互いに連携し合って、改善しながら事業を継続していけたら幸いである。

過疎化・少子高齢化が進む阿賀町であるが、町民が一体感をもって「一億総活躍社会」へのモデル地域として活動していきたいと念願している。(筆者は82才、阿賀町文化協会会長)

※お元気ですかのコーナーは掲載をリタイアした方がその後元気に活動している様子を紹介するコーナーです。

未来に残そう美しい山村

山村地域は、食料の生産、水源のかん養、国土の保全、空気の浄化、心のやすらぎの提供など様々な役割を果たし、国民の生命と生活・財産を守っています。

全国山村振興連盟新潟県支部  
支部長(糸魚川市長) 米田 徹

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内  
TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609

事務局長のつぶやき

今年も残り1ヶ月になりました。年末年始は忘年会、クリスマス、正月とイベント続き。加えて、年末大掃除、ふだん、存在感の薄いお父さんにも一気に出番が。

今年の後半の話題は世界ラグビー。珍しい名字と独特のルーティンで注目された五郎丸選手。

あのルーティンは、私には妻に謝るとききのポーズとダブるのでありますが私だけではいけません。あえて言うなら、新潟出身の稲垣啓大選手、イケメン五郎丸選手への対抗として、あの無骨でひたむきな表情の稲垣選手の方が好きだな。

良いお年をお迎えください。(田原)